



石原橋下の釣人 Fishing under the Ishihara bridge ...

© photo by Isao Yoshida

## “THE FUTURE OF ROTARY IS IN YOUR HANDS”

ロータリーの未来は あなたの手の中に

RI会長  
ジョン・ケニー  
2570地区ガバナー  
加藤 玄 静

今を大事に

### 第 2344 例会 2009. 7. 22

例会場：飯能プリンスホテル 〒357-0038 飯能市仲町11-21  
☎(042)975-1111

事務局：飯能商工会議所内 〒357-0032 飯能市本町 1-7  
☎(042)974-3111(代) FAX (042)973-1662  
<http://www.hanno.jp/~hannorc/> Eメール hannorc@hanno.jp

天 候 曇 (NO.46-04)

会 長 木川 一 男 幹 事 山川 莊太郎

例会日 水曜日(12:30~13:30) 当 番 北田君、小崎君

《夜間例会》 飯能プリンスホテル 18:00 ~

- ・点 鐘 木川会長
- ・ソング 手に手つないで

#### 【会長報告】

2日間に亘る飯能夏まつりが終わり、今日は皆既日食でだいぶ騒がれているようですが生憎天気が悪く、成果がなかったようです。

7/18、間邊職業奉仕委員長と職奉第1回の地区セミナーに出席して参りました。加藤ガバナーの基本方針の中に「四つのテスト」の話がありましたので、日本語に訳された経緯について私なりに調べてみました。1933(S8)年に発表されたそうですが、日本RCの創設者がこれを決めたわけではなく、戦後日本で全国1区制の最初のガバナーとなられた手島知健氏の時代に始まったようです。RI事務総長の監督の下、手島ガバナーに全ての日本語への翻訳を委譲するというような内容の正式な文書があったようです。全国からの応募で70数件の翻訳原案が出され、それを50周年記念の委員会がとりまとめました。東京RCの会員で毎日新聞社社長・最高顧問だった本田親男氏の作品が選ばれ、今の「四つのテスト」になったようです。応募作品の中には日本語の解釈がおかしいのではないかなというようなものもあったようです。例えば、室蘭クラブでは「1 これは真実でしょうか、2 これは皆に公平でしょうか、3 これは好意と友情を深めるものでしょうか、4 これは皆の

ためになるものでしょうか」横浜クラブでは「1 真意ですか、2 一様に公平でしょうか、3 友愛と親善を深めますか、4 もれなく潤いますか」等。日本RIに対しての本田氏の解釈を全て正当(正統?)化するというようなことで決まったようでございます。

「職業奉仕委員会」というのが、如何に真面目にやっているかをつくづく感じて帰って参りました。ロータリアンは職業人であることが基本であり、私自身、果たして「四つのテスト」の解釈は本当に日本的なのだろうかという気持ちがありましたけれども、70数件の中から1つ選ばれたという経緯を聞きまして非常に感激したわけでございます。

#### 【幹事報告】

- ・役員会を開催。「ガバナー公式訪問例会」についての案内を入れました。若干早いかなと思いましたが、スケジュールを前もってご覧頂き、お持ち帰りにならず当日もそれを使って頂くようお願いいたします。
- ・「45周年」について森委員長より報告、来年3/17にプリンスで開催とのこと。
- ・新入会員(飯能グリーン・大崎様)について異議のある方は書面でお願いいたします。
- ・9月のプログラム、承認。(前号に掲載)
- ・飯能市教育委員会・飯能市子ども会育成会連絡協議会合同の「みんな集まれ!わいわい祭り」に協賛金1万円拠出、承認。
- ・ホームページのリニューアル、承認。

